

2024年4月24日発行

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 外部連携団体からのお知らせ
- 3) 健康心理学コラム vol. 136 「てんかんをもつ方のセルフスティグマの評価と支援の重要性」 小川 舞美 (東北大学)

1) 学会からのお知らせ (<https://kenkoshinri.jp/>)

■日本健康心理学会第37回大会 (11月23-24日@別府大学) のお知らせ (vol.3) (日本健康心理学会第37回大会準備委員会より)

1. 大会HPをご確認ください: <https://www.jahp37.com>
2. 一般演題, 自主シンポジウムの受付期間: 5月1日(水) - 6月30日(日)
5月から受付が始まります, エントリーをお願いします。
3. 参加申込: 事前参加7,000円です。経費削減のため原則現金払いではありません。
4. 懇親会: 23日にホテルサンバリーアネックス (<http://www.hotelsunvalley.com/>)で実施です。美味しいものを用意します。

■ヨーロッパ健康心理学会 Practical Health Psychology blog (PHPB, 実践健康心理学ブログ) の4月記事のお知らせ (国際委員会より)
本文: “How to maintain health behaviours long term?” の日本語記事「健康行動を長期にわたって維持するには」が掲載されました。

下記URLよりご覧ください。
<https://practicalhealthpsychology.com/ja/2020/08/how-to-maintain-health-behaviours-long-term/>

※アクセスの際は、URL 全てをコピーしアドレスバーへペーストのうえご覧ください。
※ブラウザによっては開けない場合があります。その際にはお手数ですが、別のブラウザにてお試しください。

2) 外部連携団体からのお知らせ

■セミナー開催の報告 (NPO 法人健康心理教育実践センターより)
「依存社会と健康—『依存』を心理学する—」と題するセミナーを4月20日に開催しました。

下記URLよりご覧ください。
<http://npo-kenko-shinri.jp/%e6%9c%aa%e5%88%86%e9%a1%9e/6368>

3) 健康心理学コラム Vol. 136

「てんかんをもつ方のセルフスティグマの評価と支援の重要性」
小川 舞美 (東北大学)

てんかんは、あらゆる年齢で発症する可能性のある病気で、日本では約100万人の方がこの疾患を抱えています (中里, 2015)。そのため、てんかんという病名を耳にしたことがある方は多いかもしれません。

しかし、てんかんをもつ方の心理的側面に着目したことがある方は、どれくらいいらっしゃるでしょうか。てんかんをもつ方の悩みは、てんかん発作のことだけにとどまらず、学業や仕事、運転など多岐にわたります。2022年5月に世界保健機関が「領域横断的なてんかんと神経疾患の世界的行動指針 (IGAP)」を発表したことにより、てんかんをもつ方の心理的・社会的側面への関心はますます高まっています。てんかんをもつ方の心理を理解する上で重要とされる概念の1つとして「セルフスティグマ」が挙げられます。「セルフスティグマ」は、てんかんをもつ方が抱える自分のてんかんに対する偏見のことで、てんかん発作の頻度や罹患期間などの医学的要因よりも、quality of life に大きな影響を与えることが明らかになっています (Ogawa et al., 2021)。てんかんをもつ方の心理的側面の理解には「日本語版てんかんセルフスティグマ尺度」の使用が役立ち、その結果は適切な心理的支援を提供する一助となることが期待されます (Ogawa et al., 2022)。このようなアプローチは、てんかんの継続的な治療の成果を最大限に引き出し、その人らしい生活を実現することを促進すると考えられます。

引用文献

- 中里 信和 (2015). 「てんかん」のことがよくわかる本 講談社
Ogawa, M., et al. (2021). Acceptance of disability predicts quality of life in patients with epilepsy. *Epilepsy & behavior*, 120, 107979.
Ogawa, M., et al. (2022). Development and validation of the Japanese version of the Epilepsy Stigma Scale in adults with epilepsy. *Epilepsy & behavior*, 134, 108832.

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更は下記アドレスまで

日本健康心理学会事務局 < jahp@pac.ne.jp >

メールマガジンへのご意見・ご感想は下記アドレスまで

広報委員会 < jahp@pac.ne.jp >

過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます

<https://kenkoshinri.jp/health/health1.html#mailmaglist>